

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	01	03	104120	はなまき保幼一体研修事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-1	子育て環境の充実			
	施策	3	就学前教育の充実			
目的	就学前教育の充実					
対象	保育園・幼稚園職員、小学校1年生担任					
意図	市内保育・教育の質向上、小学校へのスムーズな接続の実現					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
市内保育園、幼稚園の保育士等を対象とした研修に、外部講師を導入するとともに、市内園の職員が連携して研修を実施し、内容を更に充実させる。 (以下、外部講師による研修を実施する予定の研修会等) ①公開保育研修 ②公立保育園・幼稚園合同園内研究報告会 ③公立園職員研修 ④専門研修 ⑤保幼小連携研修						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	外部講師による研修会等開催回数	回	計画	22	22	
			実績	13	14	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	外部講師による研修会の参加者人数	人	目標	800	800	
			実績	401	576	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="radio"/> 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成21年5月18日に策定した花巻市就学前教育プログラムにおいて、保幼小の連続性を考慮した保育・教育の充実という取組み方針が定められ、子どもの発達や学びの連続性を考慮した保育・教育のあり方についての保育所と幼稚園及び保育園・幼稚園と小学校との合同研修・研究を実施することを位置付けし、小学校1年生の落ち着きが見られる等、着実な成果を上げているものの、研修への参加について理解が得られるように、保育園等へ引き続き働きかけを行っていく。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	就学前教育の充実は、その後の義務教育等へのスムーズな移行を実現する上で非常に重要であり、公的機関(教育委員会)が、公立、法人を問わず、より良い研修を実施することにより、その資質を向上することは重要であることから、公共的関与は必然である。
	<input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	毎年度、当該事業の成果向上のための事業を継続的に実施しており、着実に成果が上がっているが、今後も継続的な事業実施により、更に成果が期待出来る。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	保育・教育施設に向けたソフト事業であり、削減の余地がない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	認可外の乳幼児、在宅の乳幼児も含めた市内全園を対象とした事業であり、受益機会は平等である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
外部講師を迎えて研修を行うことにより最新の情報で緊張感を持って研修に臨むことができている。同時に内部講師も活用してきめ細かい研修を効果的に実施していく。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	01	03	104120	はなまき保幼一体研修事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		185	134		△ 51
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	185	134		△ 51

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標

子どもたちの健やかな成長を育む就学前教育の充実と家庭の教育力の向上

事業開始の背景・経緯

平成21年度に花巻市就学前教育プログラムが策定され、「0歳から人として尊重され、生きる喜びを感じながら成長していくことが、その後の望ましい生き方につながる」と位置付けられたことから、就学前の乳幼児期の子どもの保育・教育を充実させるため、着実に取り組んできた。

事業概要

市内保育園、幼稚園の保育士等を対象とした研修に、外部講師を導入するとともに、市内園の職員が連携して研修を実施し、内容を更に充実させる。

(以下、外部講師による研修を実施する予定の研修会等)

- ①公開保育研修
- ②公立保育園・幼稚園合同園内研究報告会
- ③公立園職員研修
- ④専門研修
- ⑤保幼小連携研修

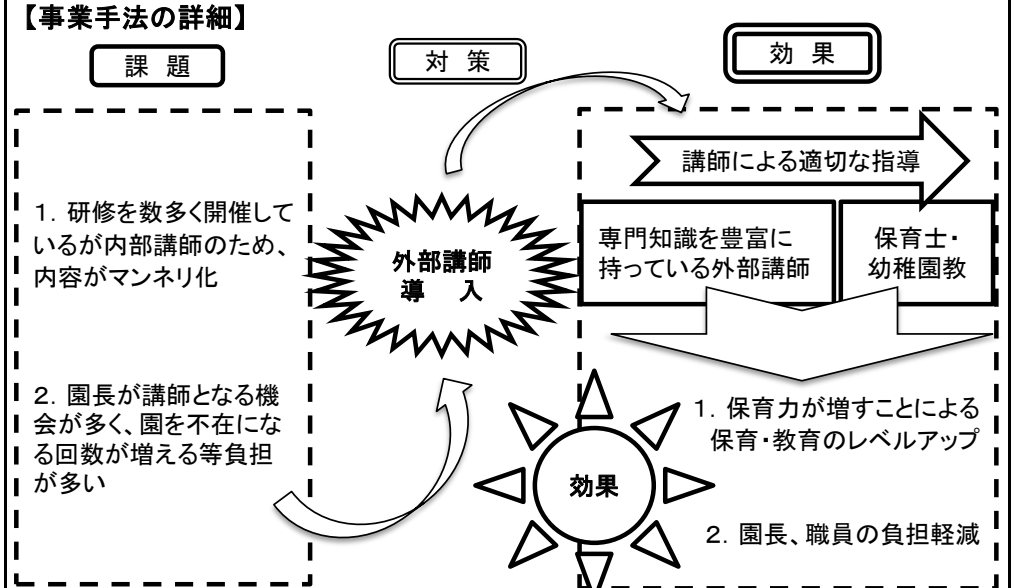
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・公立園園長) 年齢別研修等では園長が講師となっていることから、多忙な園長の負担が増えている。外部講師により実施することで、園長の負担軽減と研修内容の充実が図られるのではないかと。研修の必要性は感じているが、何か負担軽減する方法が無いのか模索している。
 ・保幼小連携研修) 保育園、幼稚園、小学校の職員同士の情報交換の場で有意義ではあるが、研修という部分が弱く、検討が必要である。
 ・公立幼稚園臨時保育士) (北上市居住者) 他市は花巻市ほど研修が充実していない。幼稚園教諭としてありがたい。

担当部署 部名 教育部 課名 こども課 担当係長 佐々木 祐子 内線 930-342

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【平成28年度事業費の内訳】

- 事業費合計 134千円
 内訳) 各種研修開催費用 (講師報償費、講師旅費)
- 事業内容
 - ①公開保育研修 (県内講師1名 20千円)
 園内での保育を講師・他園保育士が見学し、その後振り返り研修
 - ②市内保育園・幼稚園等園内研究発表会
 (県内講師1名 無償、講師旅費相当3千円)
 - ③公立園職員研修 (県内講師7回 70千円、講師旅費相当1千円)
 年齢別担当者研修 (5区分)、研究主任研修、調理員研修で外部講師が助言、指導 (園長等経営研修、教務主任研修、新規採用者研修、園務員研修は内部講師を活用)
 - ④専門研修 (歯科医師会1名、中部保健所1名 無償)
 市内全園職員を対象とした専門的な掘り下げた内容の研修、講義形式
 - ⑤保幼小連携研修 (県内講師1名 40千円・旅費込謝礼)
 首都圏の保幼小連携の先進地事例関係者による講義、情報交換